

令和6年度 園経営計画 足立区立南保木間保育園

園長 佐藤 勝美

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもを大切にし、心も体も健康で豊かな感性と意欲をもった子どもを育てる。
- (2) 職員の専門性を高め、乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を図り子どもの育ちを支える。
- (3) 保護者や地域との信頼関係を築き、安全で安心な保育園としての役割を担う。

2 園の現状

- (1) クラスの枠を超え、子どもたちの状況を共有し、職員間の綿密な連携による保育体制で保育を行っている。
- (2) 子どもが遊びを選び、やりたい気持ちを叶えられるよう職員間で話し合いながら環境を整え工夫を行っている。
- (3) 日々の保育の様子を写真と共にドキュメンテーションで配信し伝えている。子どもの姿を通し保護者との対話や面談を行い、各家庭に合わせた子育て支援を行っている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	魅力的な環境を通して子どもたちの遊ぶ意欲、考える力を育む。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもが遊びを見つけ夢中になれる環境の工夫を行う。	ア 保育者は子どもの考え・工夫を見取り、遊びが深まるようなタイミングを捉えた言葉かけや関わりを行う。 イ 子どもの興味や発達に合わせた遊具・用具を用意し、自ら遊びを選んで楽しめるようにする。
(2) 自然や生き物と積極的に触れて遊ぶ機会をつくる。	ア 子どもたちと草花や野菜を育て、生長の変化を楽しみながら、ままごとや色水遊び、制作などに活かしていく。 イ 近隣の公園へ月に2～3回散歩に出かけ、草花や木の実、虫の発見や採取を楽しめるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	体を動かすことを楽しいと感じ、運動遊びを喜ぶ子どもを育む。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 多様な運動遊びができる環境づくりを行う。	ア 常設・乗用遊具の他、体の使い方を意図した遊びを用意し、36の基本動作全般が経験できるようにする。 イ 年齢ごとに選んで使える遊具を用意し、遊びや季節によって団地内公園も活用し全身を使って遊ぶ。
(2) 友達と一緒に体を使って楽しめる遊びの工夫を行う。	ア 思わず関わって遊びたい遊具や遊びを用意し意欲につなげ、楽しさや解放感を味わえるようにする。 イ 体操、リズム、昔遊び、ごっこ遊びなどの遊びを取り入れて楽しさを共有できるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	家庭や地域と一緒に子育てをしていく保育園づくりを行う。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 保護者や地域の方と子ども理解に繋がる機会をもつ。	ア プロジェクターなど、映像で保育を分かりやすく伝える。 イ 年4～6回の小学校、城北分園交流や園庭開放を行う。
(2) 保護者と面談の機会を柔軟にもつようにする。	ア 送迎時の対話や日頃のコミュニケーションを大切に行い、子どもの姿や成長を共有できるようにしていく。 イ 個人面談の他、自由相談の期間を設ける。